



寄り道と回り道の大切さ

校長 重田 英明

穏やかな天候に恵まれ、新しい年となりました。ご家庭では、どのようにお正月を過ごされたでしょうか。保護者・地域の皆様には、本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

さて、「一年の計は元旦にあり」と言われるように、私も含め多くの人が「今年はこんなことができるようになりたい」、「今年はこんなことを成し遂げたい」などの年頭の目標を立てるのではないのでしょうか。漠然と日々を過ごすより、目標をもち、その達成に向けて前進することはとても大切なことだと思います。しかし、目標の難易度にもよりますが、何のつまずきもなくスムーズにゴールまで突き進めることはそんなに多くはないと思います。紆余曲折しながら、あきらめそうになったり、寄り道をしたり回り道をしたり、長い道のりになるのではないのでしょうか。

このことに関連して、インターネットのブログで「寄り道や回り道の価値と意味がわかるのは、今ではなく未来。人生に無駄な経験は一つもない。」という記事を見つけ、読んでみました。

そこには次のようなことが記されており、「なるほどなあ」と思いましたので、紹介いたします。

寄り道で知識が増え、回り道で視野が広がります。寄り道と回り道で経験が増えて人生に深みが増します。経験が増えれば感情も豊かになり、感性も育っていきます。でも、寄り道や回り道はその瞬間には何の役に立つのかはわからないし、探しても答えは出てきません。こんなことが知れた。こんな世界があると分かった。そのときはそれだけで十分で、「この経験はこのためにあったんだ」と分かるのは、もっと先の未来です。寄り道や回り道をしている最中は、「そんなことが何の役に立つの?」と誰かに言われるかもしれません。「もっと無駄のない動きをきなさい」と言われるかもしれません。でも、そもそも、何の役に立つかなど誰にもわからないし、最初から分かっている寄り道も回り道もないのです。(中略)



(ゴールに向けて)どのスピードで進むのか、いつ到達するのか、そんなこと、本人にもわかりません。本人が分からないことを他の誰かが分かたりしません。回り道や寄り道の価値や意味が分かるのは、今ではなく未来です。こんなことしていいんだろうかと心配するよりも、今の回り道と寄り道から一つでも多くのものに気付いてを学びましょう。人生に、無駄な経験は一つもないから。

<Naomi の言霊より>